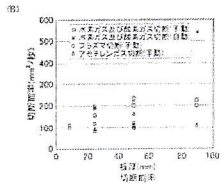
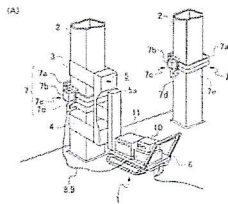
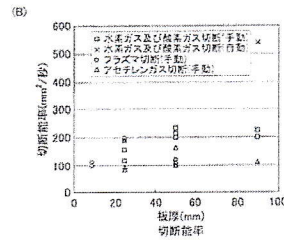
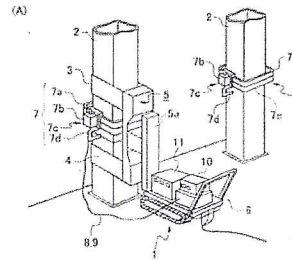


1 / 7

特許5617130号 平成26年11月5日 特願2010-289841 平成22年12月27日 登録 8項 (8頁)
 戸田建設株式会社, 株式会社エフ アイ ティー <三輪 明広>, <鈴木 信也>, <中熊 純正>, <篠原 友徳>
 E04G 23/08 (2006.01)
 2E176 AA01 DD01 DD52 DD61
 建築物の解体工法と、解体装置

【特許請求の範囲】【請求項1】 鉄骨柱の上下位置を横方向から上下把持部で把持するとともに、該上下把持部がそれぞれ離隔するように上下方向に伸縮自在に移動可能にして有する把持装置を移動自在な基台に有し、前記把持装置の上下把持部の間において鉄骨を水素ガス及び酸素ガスで切断する切断装置が、その切断装置に接続ホースを介して接続される水素ガス及び酸素ガスの供給装置と当該切断装置に制御リード線を介して接続される制御装置とを前記基台に有して、設けられてなること、を特徴とする解体装置。

【技術分野】【0001】 本発明は、鉄骨柱を有する鉄骨造（S造）の建築物の解体工法と、この解体工法に使用する鉄骨若しくはコンクリートの解体装置に関するものである。



項目	内容
発明の名称	建築物の解体工法と、解体装置
発明者	中熊 純正
代理人	特許事務所
特許請求の範囲	鉄骨柱の上下位置を横方向から上下把持部で把持するとともに、該上下把持部がそれぞれ離隔するように上下方向に伸縮自在に移動可能にして有する把持装置を移動自在な基台に有し、前記把持装置の上下把持部の間において鉄骨を水素ガス及び酸素ガスで切断する切断装置が、その切断装置に接続ホースを介して接続される水素ガス及び酸素ガスの供給装置と当該切断装置に制御リード線を介して接続される制御装置とを前記基台に有して、設けられてなること、を特徴とする解体装置。
要約	鉄骨柱の上下位置を横方向から上下把持部で把持するとともに、該上下把持部がそれぞれ離隔するように上下方向に伸縮自在に移動可能にして有する把持装置を移動自在な基台に有し、前記把持装置の上下把持部の間において鉄骨を水素ガス及び酸素ガスで切断する切断装置が、その切断装置に接続ホースを介して接続される水素ガス及び酸素ガスの供給装置と当該切断装置に制御リード線を介して接続される制御装置とを前記基台に有して、設けられてなること、を特徴とする解体装置。

